

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	経営情報システム		
英文授業科目名	Management Information System		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-		
開講学科・専攻	システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	太田 敏澄		
居室	P-515		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ohta@is.uec.ac.jp	http://www.ohta.is.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>経営における情報システムの機能は、どのようなものであろうか。</p> <p>経営情報システムは、企業において、新しいビジネスを創造するものであろうか。あるいは、その日常的なオペレーションを効率化するものであろうか。</p> <p>現代の企業をみると、経営情報システムを駆使することによって、急成長を遂げたり、競争力を大幅に強化したりしている企業がある。その一方で、倒産や買収に追い込まれている企業も多い。</p> <p>インターネット時代における経営情報システムは、企業内部に留まらず、市場や社会への拡がりをもって、はじめて意義のあるシステムとなっていることに鑑み、</p> <p>(1) 経営システムを基盤として経営情報システムを位置づけ、その戦略的、戦術的、業務的機能を論ずる知識や能力を備えること</p> <p>(2) 社会的情報環境下における経営情報システムのあり方を論ずる知識や能力を備えることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
経済学，心理学，社会学など，人文社会科学的基础科目

【教科書等】

教科書：講義時配布資料および

太田敏澄「情報環境」，
稲葉元吉編著『社会の中の企業』（八千代出版）

参考書：太田敏澄「IT時代の情報都市」，

田中啓一編『都市と環境の公共政策』（中央経済社）
太田敏澄「サイバー・コモنزの組織化」，
遠藤薫編『環境としての情報空間』（アグネ承風社）
太田敏澄他著『社会情報システム学・序説』（富士通ブックス）
太田敏澄他著『社会情報学のダイナミズム』（富士通ブックス）

【授業内容とその進め方】

経営情報システムの理解にとって基礎となる経営システム概念、意思決定の枠組みに基づき、組織の調整問題を記述するモデルや経営戦略へと展開する。

適宜、ケース・スタディを行う。

1. 経営システムの基礎知識
 - (a) 意思決定と情報
 - (b) システムズ・アプローチ
2. 意思決定と組織の調整モデル
 - (a) 意思決定支援システム
 - (b) コミュニケーションの構造
 - (c) 市場と調整のモデル
3. 組織と情報システム
 - (a) 階層システム
 - (b) 知的分散システム
 - (c) エージェント・モデル
4. 経営戦略と情報ネットワーク
 - (a) バーチャル企業
 - (b) 顧客志向企業

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法
2回以上のレポートを課す。
- (b) 評価基準
 - (1) 経営システムのモデルを理解している。
 - (2) 意思決定のモデルを理解している。
 - (3) 調整モデルを理解している。
 - (4) 経営情報システムの事例を説明できる。
 - (5) 経営戦略の事例を説明できる。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】
適宜相談に応じるが，e-mailなどで事前にアポイントメントをとること．

【学生へのメッセージ】
工学的な手法を用いて，社会科学的な領域の現象をモデル化する思考実験をしてみてください．

【その他】
なし